

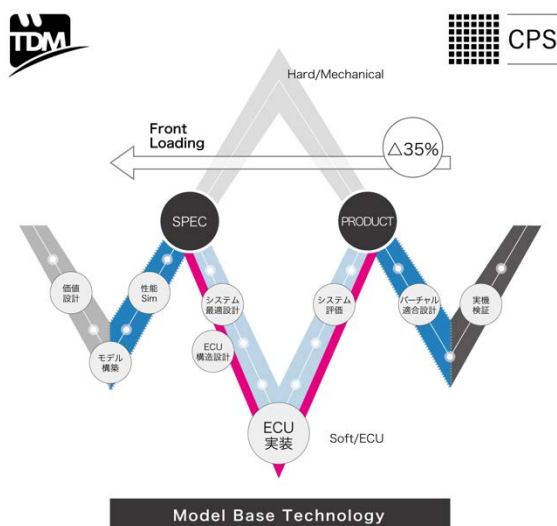
— モデルベースのAZAPA —

AZAPA Total Design Management 『2023a』 を提供開始！



AZAPA 株式会社（愛知県名古屋市中区錦2-4-15、代表取締役社長 & CEO 近藤康弘、以下 AZAPA）は MATLAB® R2023a に対応した要求設計から仮想適合まで一貫通貫で行う AZP-TDM の最新版をリリースしました。

AZP-TDM とは



TDM は、消費者視点での不明瞭な要求を基に、効率的な価値設計を実践するための開発プロセスです。システムデザインの段階で、消費者の潜在的欲求にインパクトを与える価値指標を定量化し、システム仕様を明確なモデルで表現。シミュレーションを駆使して、設計したシステムの効果と実現性を迅速に検証します。様々な設計案を試し、実現可能な最も価値のある設計を繰り出す支援環境だといえます。TDM では、精緻な仮説検証を

実施するため、経済産業省モデリングルールに準拠した、機能や性能の統合インターフェースを提供し、システム全体の性能をシステムデザインの段階で正確に検証できるようにしています。設計の初期に機能や性能を確定的に分配できれば、後戻りの発生を減らせると同時に、後工程の詳細設計も自動化しやすくなります。

リリースハイライト

AR-P

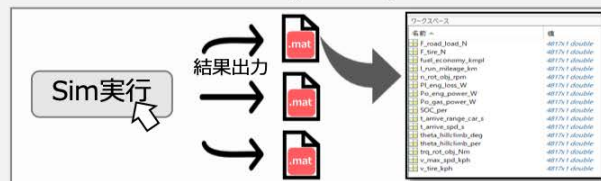
大きいデータサイズにも対応！

Before(2022b)



- ・連続シミュレーションの結果を1つのmatファイルに保存するため、シミュレーション回数が多いと保存できないことがある

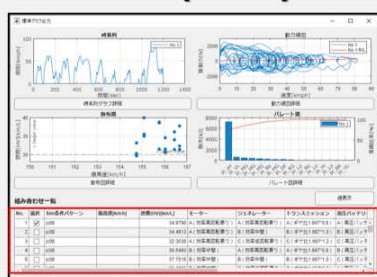
After(2023a)



- ・シミュレーション回数が多くても実行・保存できる
- ・シミュレーション実行後のワークスペースを再現できる

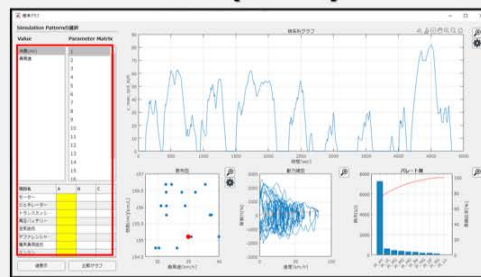
シミュレーション結果がわかりやすく！

Before(2022b)



- ・シミュレーションパターンの選択がしづらい
下方はスクロールしないと見えない

After(2023a)



- ・シミュレーションパターンの選択がしやすくなった
- ・標準グラフのレベルアップ
- ・グラフ比較機能の追加

その他

AR-V・AR-P 共通

微細なバグ修正・UI 更新等

AR-V

要求カードを右クリックして削除・編集・複製ができる機能の追加

Request Matrix タブでカードの編集ができる機能の追加

Function Name タブで既存の機能名から選択する機能の追加

サンプルプロジェクトの更新

動作環境

MATLAB® R2021a、R2021b、R2022a、R2022b、R2023a 上で動作します。

<https://jp.mathworks.com/support/requirements/>

MathWorks 社「System Composer™」

<https://jp.mathworks.com/products/system-composer.html>

MathWorks 社「Stateflow™」

<https://jp.mathworks.com/products/stateflow.html>

関係リリース

—モデルベースの AZAPA—AZAPA Total Design Management 『2022b』
を提供開始！

https://azapa.co.jp/index.php/2023/02/21/release_tdm_2022b/

—AZAPA Total Design Management が MATLAB/Simulink の
サードパーティに登録！

https://jp.mathworks.com/products/connections/product_detail/azapa-tdm-toolbox.html

お問い合わせ先

AZAPA 株式会社

TEL : 052-221-7350

担当部署 : モデルベースカンパニー

E-mail : azp-cps@azapa.co.jp

URL : <https://azapa.co.jp>

SNS :

Facebook : <https://www.facebook.com/azapacojp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/azapa.official/>

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCUmHYUJ1uOkliaOH8uEw5qw>